

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	手洗い、消毒の励行、衛生管理	屋外から館内に入ってきた際や食事前の手洗い・消毒と、食事前後の机拭きを徹底し、衛生管理に努めた。
		出欠確認、下館時刻の把握・確認	出欠確認をし、こどもの所在を明確にした。下館時刻が遅い場合は学校との連絡が必要であり、学校の理解を得ることが大切になる。
		さくらdaysの活用	欠席・早退等の連絡や学童からのお知らせ・学童クラブだより等の資料の掲載に利用し、保護者への伝達に活用した。
		挨拶の励行	登館、下館時に一人ひとりに声をかけるよう心掛け、子どもたちの状況を把握するとともに、コミュニケーションのきっかけとして努めた。
		登下館の安全指導	帰る方向が同じ子どもたちをグループ分けし、まとまって帰ることが出来るように努めた。交通ルールを守り、寄り道をせずに帰るなど、下館時のルールについてはおわりの会で折りにふれて話しをした。また、交通安全・防犯・避難についてのお話を定期的に行った。
	健康の管理・情緒の安定	心理面・健康面の状況把握	子どもの心理面・健康面については、普段の様子を観察するとともに、小学校や保護者と緊密に情報交換するように努めた。
		身の回りの整理整頓	自分のロッカーの片付け等、自主的に整理整頓に努めるよう声掛けを行った。
		道具の使用・片付けについての声掛け	片付けないまま次の遊びに行かない、使ったら元の場所に戻すなど、使用したおもちゃや道具の片付けに関して、適宜声掛けを行った。引き続き、片付けについては指導していきたい。
		勉強時間の確保	勉強については、平日は下館後すぐに取り組めるよう机を準備するなどを行った。長期休業中や土曜日は、朝の会までの時間に学習・本読み等の時間を設けた。普段の生活の中では、17時以降は出来るだけ自主的に勉強できるように声掛けを行った。
子ども育成機能	生活体験の拡大	新入生を迎える会	新しい仲間をあたたかく迎えられるよう、子どもたちでプレゼントづくりを行った。当日は、迎える言葉、遊びの紹介、新入生にプレゼントを渡してもらうなど、それぞれの子どもたちが新入生を迎え入れる気持ちを伝えられる会になった。
		おたん生生日のお祝い	各月、おわりの会の前に行った。子どもたちが、お互いのおたん生生日をお祝いし合う中で、仲間を大切に思う気持ちを育めるよう努めた。また3年生以上を中心に（途中からは2年生も対象）当日の司会に立候補してもらい、積極的に会に携わるよう促していった。
		避難についてのお話	育成室、遊戯室、図書室それぞれの部屋から避難することを想定し、実際に各部屋から紫竹小学校への避難口となる各出入り口まで移動するなど、避難経路の確認を行った。
		防犯についてのお話	子どもたちが日常生活の中で自らの身を守る力を身につけられるよう、安全についての話しを行った。不審者は見た目だけでは判断できないことを伝え、実際に遭遇した場合の対応についてもクイズ形式で提示した。子どもたちが自分で考えながら理解を深められるよう、分かりやすい言葉や具体的な場面を用いるよう努めた。
		交通安全についてのお話	児童館の登館・下館時の安全についての話しを行った。
	社会性の養成	4年生以上ミーティング	3年生がリーダーをする上で、自分たちに何ができるのか考える機会とする。また、高学年としての学童クラブでの過ごし方について考えるよう努めた。
		3年生会議	学童クラブのリーダーとして、日々どのように過ごすべきかについて子どもたちと話し合った。行事の内容や司会進行、おわりの会の司会など、リーダーが担う具体的な役割を確認し、それぞれが責任をもって行動できるように説明した。
		2年生会議	次年度3年生になる2年生を対象に会議を行い、学童クラブのリーダーとしての意識を持てるよう話しを行った。
		3年生企画	事前に行った話し合いの結果をもとに、3年生に当日の運営を頑張ってもらった。また発表したい人を募り、当日けん玉などを発表してもらった。
		お腹休めの取組	学校の長期休業中には、子どもたちが楽しみながらも落ち着いて過ごせるよう、工作など座って取り組む活動の時間を設けた。活動に集中することで自然とお腹を休めることができていた。
チャレンジDAY	子どもたちは意欲的にチャレンジした。活動を通して、自分の記録向上を目指して取り組む姿が見られたほか、友だちの頑張りを認め、励まし合う姿も見られた。		

自立の促進と自主性の尊重	お弁当いらないDAY	学校の長期休業中には、夏休みに2回、冬休みに1回のお弁当提供を行った。事前に希望家庭を募り、お弁当業者とも早めに連絡・調整を進めたことで、子どもたちは楽しみながらお弁当を味わうことができた。また、家庭にとってはお弁当づくりの負担を軽減する機会にもなったと考える。お弁当が足りない子については、家庭から追加して持ってきてもらうようにした。	
	お楽しみおやつ	2年生以上と1年生で部屋を分けて活動した。2年生以上は経験がありスムーズに進んだが、1年生は理解に時間がかかる様子が見られたため、今後は職員配置を工夫したい。おやつはどの子どもたちも喜んでた。	
	紫竹まつり・紫竹ルネサンス・紫竹e c o フェスタへの引率	土曜日出席の子どもたちを引率し、紫竹小学校で行われた地域のまつりに参加。	
	館外活動・京都やんちゃフェスタ2025	1日屋外での活動となったため、疲れが見られる子や、朝から体調が優れない子もいた。そこで、それぞれの興味や体調に合わせてグループを組み直したり、おやつ時間を設けて子どもの様子を職員間で共有するなど、柔軟に対応しながら進めた。各コーナーはどれも魅力的で、子どもたちはゲームや工作を通して1日を楽しんで過ごしていた。	
	ブロック交流行事2025	交流行事に参加した。バスでの移動も大きな問題はなく、子どもたちは行き帰りとも落ち着いて過ごしていた。行事中は、子どもが参加したいコーナーに合わせて職員が付き添うなど、状況に応じて柔軟に対応した。帰りは、近くの船岡山公園でお弁当を食べ、遊具で遊ぶなどして楽しい時間を過ごすことができた。	
	お楽しみ会にむけて（取組）	3年生を中心に事前の準備や当日の司会、各コーナー進行などを行った。子どもたちが主体的に取り組めるよう、適宜助言を行い、子どもたちが手ごたえを感じられる会になるように努めた。	
	お楽しみ会	事前に行った話し合いの結果をもとに、3年生に当日の運営を頑張ってもらった。また、発表したい人を募り、当日けん玉などの発表をしてもらう。	
	新入生へのプレゼントづくり	新入会生用のプレゼント（プラバン）の作成を行った。どの子も丁寧に取り組んでくれていた。	
子育て支援機能	子育てに必要な情報と交換	学童クラブ登録前説明会	学童クラブへの入会を検討する家庭を対象に説明会を実施した。日々の子どもの様子を撮影した写真をスライドで紹介し、学童クラブでの生活を具体的にイメージできるよう工夫して説明した。
		入会説明会	学童クラブへの入会が決定したご家庭を対象に、説明会を実施した。入会後の利用方法や年間の活動内容、留意事項などについて説明し、質疑応答の時間も設けた。
		個人懇談	保護者との個人懇談では、子どもの具体的な様子について意見交換を行い、双方で理解を深める時間となった。
		保護者懇談会	家庭と児童館における子どもの様子について情報交換を行い、共通理解の形成に努めた。また、普段顔を合わせる機会の少ない保護者同士が対面し、同じ学童クラブの保護者として関係を築ききっかけとなった。
		子育て相談	保護者の方の悩みを傾聴しながら、児童館で対応できることと、外部機関の協力を得ることと一緒に考えていく関係づくりに努めた。
		学童クラブだよりの発行、さくらdaysの活用	毎月発行するお便りを通して、行事予定や学童クラブでの子どもたちの様子を保護者へ伝えることができた。アプリを活用することで、おたよりの写真をカラーで見ることができ、保護者が出欠等の連絡をする際も便利に感じておられるようである。
	子育ての仲間づくり	親子交流行事	保護者同士の交流が生まれ、子どもの様子を知っていただく良い機会となった。また、参加者同士が自然に関わり合い、交流を深める場となった。
	子育てを支えるネットワーク形成	小学校・保育園・他機関との連携	子どもの様子を丁寧に把握することで、日々の関わり方や支援の在り方をより適切に検討することができた。また、子どもが抱えている課題について理解を深め、今後の対応を協働して考える機会となった。

令和7（2025）年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

紫竹児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中学生	大学生	大人				
生活援助機能																
手洗い、消毒の励行	毎日															屋外から帰ってきたときや、食事する前に手洗い・消毒をするように指導した。
挨拶の励行	毎日															節目節目の挨拶を大切にするように指導した。
さくらdaysの活用	毎日															出欠確認や保護者の方との連携を取るために活用する。
遊具の使い方及び片付け	毎日															掲示物で啓発するとともに、随時子どもたちに指導を行う。
登下館の安全指導	毎日															約一カ月間、集団下館時に職員が引率し、見守りを行った。それ以降は、安全に登下館できるよう、見守りと指導を行った。
健康観察	毎日															日々子どもの体調を観察する。
子ども育成機能																
新入生を迎える会	1	27	22	13	10	3									75	新入会生を迎えるため、3年生を中心に会を実施した。
おたん生日のお祝い	12	258	210	69	92	14	2								645	子どもたちが、お互いのおたん生日をお祝いし合う中で、仲間を大切に思う気持ちを育めるよう努めた。
避難についてのお話	4	100	76	32	34	7	1	2	1						253	火事や地震、水害が発生した時の避難経路や避難の仕方について説明を行った。イラストやクイズを用いるなど、子どもが理解しやすいよう努めた。
防犯についてのお話	3	64	55	16	18	3									156	子どもたちが日常生活の中で自らの身を守る力を身につけられるよう、安全についての話しを行った。
交通安全についてのお話	2	45	38	10	17	2									112	児童館の登館・下館時の安全についての話しを行った。
4年生以上ミーティング	2				16	1									17	3年生がリーダーをする上で、上級生の+P42自分たちに何ができるのか考える機会とする。
3年生会議	11			82											82	学童クラブのリーダーとして、日々どのように過ごすべきかについて子どもたちと話し合った。
2年生会議	1		20												20	次年度3年生になる2年生を対象に会議を行い、学童クラブのリーダーとしての意識を持てるよう話しを行った。（うち1回延期）
3年生企画	2	50	28	59	37	44		1	1						220	3年生が当日に行うコーナーの内容を考え、事前の準備や当日の運営まで行った。
お腹休めの取組	23	136	52	49	59	18	7								321	学校の長期休業中には、子どもたちが楽しみながらも落ち着いて過ごせるよう、工作など座って取り組む活動の時間を設けた。
チャレンジDAY	3	40	23	18	18	11	1								111	子どもたちは様々な遊びに意欲的にチャレンジした。
お弁当いらないDAY	3	81	63	41	24	9									218	学校の長期休業中には、夏休みに2回、冬休みに1回のお弁当の注文・提供を行った。足りない子どもは、家から持参してもらった。
お楽しみおやつ	1	31	26	14	14	6	1								92	2年生以上と1年生で部屋を分けて実施した。どの子も楽しんで取り組んでくれた。
紫竹まつり引率	1		1					1							2	土曜日出席の子どもたちを引率して、紫竹小学校で行われた地域のまつりに参加。
紫竹ルネサンス引率	1		1	1	1			1							4	土曜日出席の子どもたちを引率して、紫竹小学校で行われた地域のまつりに参加。
紫竹ecoフェスタにお出かけ	1	1	3	1	1	1	1								8	土曜日出席の子どもたちを引率して紫竹ecoフェスタに参加し、エコ発表、フリーマーケット、各ブースを楽しみながら、エコについて学んだ。
館外活動・京都やんちゃフェスタ2025	1	2	3	3	1		1								10	梅小路公園で開催された京都やんちゃフェスタに、土曜日出席の子どもたちを引率して参加した。それぞれのコーナーを楽しめるよう、グループごとに行動するなど、職員配置を考えながら引率を行った。
ブロック交流行事2025	1		4	1				1	1						7	交流行事に参加した。バスでの移動も大きな問題はなく、子どもたちは行き帰りと落ち着いて過ごしていた。行事中は、子どもが参加したいコーナーに合わせて職員が付き添うなど、状況に応じて柔軟に対応した。帰りは、近くの船岡山公園でお弁当を食べ、遊具で遊ぶなどして楽しい時間を過ごすことができた。
お楽しみ会にむけて（取組）	1															3年生を中心に事前の準備や当日の司会、各コーナー進行などを行った。
お楽しみ会	2	58	34	22	10			2							126	事前に行った話し合いの結果をもとに、3年生に当日の運営を頑張ってもらった。また発表したい人を募り、当日けん玉などを発表してもらった。
新入生へのプレゼントづくり	2	20	14	8	6			1							49	新入会生用のプレゼント（ブラバン）の作成を、希望者を募って実施する。
子育て支援機能																
入会前説明	6													38	38	学童クラブへの入会が決定したご家庭を対象に、説明会を実施した。
入会前面談	4													4	4	入会前の個人面談を希望する家庭を対象に実施し、入会にあたって留意すること等についての情報交換を行った。
個人懇談	22	1												45	46	保護者との個人懇談では、子どもの具体的な様子について意見交換を行い、双方で理解を深める時間となった。
保護者懇談会	3	2												39	41	家庭と児童館における子どもの様子について情報交換を行い、共通理解の形成に努めた。
子育て相談	3													4	4	保護者の方の悩みを傾聴しながら、児童館で対応できることと、外部機関の協力を得ることを一緒に考えていく関係づくりに努めた。
学童クラブだよりの発行、さくらdaysの活用	12															毎月発行するお便りを通して、行事予定や学童クラブでの子どもたちの様子を保護者へ伝えることができた。
親子交流行事	2	8	5	3	2			2						17	37	普段交流する機会の少ない他学年の保護者同士も交流する機会となり、遊びを通した相互理解の場となった。
小学校・保育園・他機関との連携	8															子どもの様子を丁寧に把握・共有することで、日々の関わり方や支援の在り方をより適切に検討することができた。また、子どもが抱えている課題について理解を深め、今後の対応を協議して考える機会となった。

*注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること

*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること